

LIGHT SYMPHONIC CONCERT

ライト・シンフォニックコンサート
大人の癒し

Vol.
10

オペラの世界へ

モーツァルト：歌劇「フィガロの結婚」序曲

モーツァルト：歌劇「フィガロの結婚」より“もう飛ぶまいぞこの蝶々”

マスネ：歌劇「タイス」より“瞑想曲”

ロッシーニ：歌劇「セヴィリアの理髪師」序曲

ロッシーニ：歌劇「セヴィリアの理髪師」より

“私は町のなんでも屋”

ヘンデル：歌劇「リナルド」より“私を泣かせてください”

ビゼー：「カルメン」組曲より

“前奏曲”、“間奏曲”

“アラゴネーズ”、“ジプシーの歌”

ボロディン：歌劇「イーゴリ公」より

“だったん人の踊り”

2024 5.18 (土) 14:00 開演 (13:00 開場)

ザ・シンフォニーホール

SS席 10,000円 S席 8,000円 A席 6,000円(税込)

主催/制作：公益社団法人 大阪交響楽団 ザ・シンフォニーホール

ご予約・お問合せ

■ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333(火曜定休) <https://www.symphonycall.jp>
■大阪交響楽団 チケットセンター 072-226-5522(平日10~17時) <https://sym.jp>

プレイガイド

■e+ (イープラス) <https://eplus.jp/symphonycall/> (パソコン・携帯)
■ローソンチケット <https://l-tike.com/symphonycall/> [Lコード: 52778]
■チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/symphonycall/> [Pコード: 258-167]

*未就学児のご入場はご遠慮いただいております。*やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順が変更になる場合がございます。



「歌とトーク」江原啓之

© 脇谷隆介

「指揮」柴田真郁 (ミュージックパートナー)

© T. Tairadate

[管弦楽] 大阪交響楽団



© 飯島隆

LIGHT SYMPHONIC CONCERT

Vol.
10

ライト・シンフォニックコンサート ♪ 大人の癒し ♪ オペラの世界へ

ザ・シンフォニーホールと大阪交響楽団がタッグを組み、10回目を数える人気シリーズ「ライト・シンフォニックコンサート」。普段、クラシックに接する機会の少ない“大人”の音楽ファンが“ライト(気軽に)”楽しめる贅沢なシリーズとして好評を博し続けている。記念すべき10回目は、スピリチュアリストとして、また近年はオペラ歌手としても活躍する江原啓之を歌とトークのゲストとして迎え、指揮の柴田真郁(大阪交響楽団 ミュージックパートナー)とともに、楽しいお話しとオペラアリアやオペラの管弦楽曲の数々を、『癒し』をテーマにしてお届けいたします。



© 脇谷隆介

〈歌とトーク〉江原啓之

武蔵野音楽大学特修科修了。菊池英美、吉池道子の各氏に師事。2008年「セヴィリアの理髪師」のフィオレッロでオペラデビュー。同年、渡辺俊幸氏作曲『いのちの詩』初演。翌年「ラ・ボエーム」ペノア、アルチンドロの両役で出演。「活動20周年記念コンサート」三枝成彰音楽監督のもと4都市で開催し、佐藤美枝子氏と共演。2016年「ジャンニ・スキッキ」タイトルロール、2018年、自身プロデュース公演「夕鶴」を東京・埼玉・大阪にて全5回公演を主催し大成功。自らも運ずを務めた。その他、「第九」「マタイ受難曲」などのソリストや、2022年、11回目を迎えた紀尾井ホールでのリサイタルも好評を博している。音楽活動はクラシックにとどまらず、ポップスも歌い、2004年にアルバム「スピリチュアル ヴォイス」でCDデビュー。その後CDアルバムは11枚リリースしている。2022年「ミスター・シンデレラ」で日本オペラ協会デビュー。2023年には「源氏物語」明石入道役、「夕鶴」運ず役で出演。2024年2月には新作初演となる倉本聰氏原作「ニンゲル」にニンゲルの長役での出演。2025年3月には「静と義経」に弁慶役での出演が決定している。二期会会員、日本オペラ協会会員、日本演奏連盟会員。吉備国際大学、九州保健福祉大学客員教授。東京都出身。

〈指揮〉柴田真郁

1978年東京生まれ。国立音楽大学声楽科を卒業後、合唱指揮やアシスタント指揮者として藤原歌劇団、東京室内歌劇場等で研鑽を積む。2003年に渡欧、ドイツ各地の劇場、オーケストラで研鑽を積みながら、04年にウィーン国立音楽大学マスターコースでディプロムを取得。05年、バルセロナのリセウ大歌劇場のアシスタント指揮者オーディションに合格し、様々な上演に携わる。10年には再度渡欧し、イタリアの劇場を中心に研鑽を積んだ。帰国後は主にオペラ指揮者として活動。20年ヴェルディ「リゴレット」、21年ベッリーニ「清教徒」をそれぞれ藤原歌劇団と共演。日生劇場や新国立劇場オペラ研修所、堺シティオペラでも指揮し、好評を博す。近年では管弦楽にも力を入れ、日本各地のオーケストラと共演。指揮を十束尚宏、星出豊、ティロ・レーマン、サルバドル・マス・コンデに師事。2010年五島記念文化財団オペラ新人賞(指揮)受賞。現在、大阪交響楽団ミュージックパートナー。



© T.Tairadate

〈管弦楽〉大阪交響楽団

1980年「大阪シンフォニカー」として創立。創設者である、永久名誉楽団代表・敷島博子が『聴くものも、演奏するものも満足できる音楽を!』を提唱。いつも聴衆を“熱く”感動させるその演奏は、「魂の叫び」「情熱の音」と評されている。2001年1月に、楽団名を「大阪シンフォニカー交響楽団」に、2010年4月「大阪交響楽団」に改称した。2022年4月、新指揮者体制として、山下一史(常任指揮者)、柴田真郁(ミュージックパートナー)、高橋直史(首席客演指揮者)の3名が就任、さらなる楽団の飛躍が期待されている。

楽団公式ホームページ <https://sym.jp>



© 飯島隆